

ちよふの教育



No.89
9/20
令和6年(2024)

発行 調布市教育委員会 編集 教育部教育総務課 (刊行物番号 2024-73)
調布市ホームページ <https://www.city.chofu.tokyo.jp/>

調布市立図書館
公式キャラクター じろ

中学生職場体験事業を実施しました

平成18年度から続いてきた「調布市中学生職場体験事業」は、次世代を担う中学生に、社会の一員となる自覚を促し、社会性や望ましい勤労観・職業観を育てることを目的として、中学校2年生を対象に実施しています。

昨年度に引き続き、今年度もさまざまな業種・職種の事業所の方々にご協力いただき、実施することができました。

生徒たちにとって、職場体験活動を通して、将来の夢や希望、働くことの大切さ等、自分の生き方を考えるきっかけとなり、大変貴重な機会となりました。

問合せ/指導室 ☎481-7480



実施期間

学校ごとに実施期間を設け、3日間の体験を行いました。

第1期：令和6年7月2日(火)～4日(木)

実施校：調布中学校、第三中学校、第四中学校

第2期：令和6年9月10日(火)～12日(木)

実施校：第五中学校、第六中学校、第八中学校

第3期：令和6年9月18日(水)～20日(金)

実施校：神代中学校、第七中学校

事業所からの声



笑顔で元気よく挨拶ができていました。また、仕事に対して真剣に向き合い、自分で考えながら行動している姿に感心しました。



生徒たちは、普段見ることのできない仕事の裏側に触れたことで、充実感を得ている様子でよかったです。職員や生徒たちにとっても、お互いいい刺激をもらえ、良い体験になりました。

生徒たちの声



働くことは楽しいことばかりではないと思うけれど、頑張った分だけ、その後に達成感を感じることができました。だから、働くことは楽しいと感じました。



家族が毎日自分のために体験したこと以上のことをやっていることに感謝しました。これからも、職場体験の経験を生かして、努力していきたいです。

郷土博物館開館50周年企画展

農村のくらしと技術 一糸をつむぎ 布を織る

令和6年7月20日(土)～12月1日(日)

郷土博物館は、急速に都市化が進む中で、失われていく郷土の歴史や文化を後世に伝える施設として、今から50年前に誕生しました。

そこで、今回は開館50周年という節目に、博物館が作られるまでの動きや開館当時の様子を振り返るとともに、当時市民から寄せられた資料のうち「布づくりに関わるもの」を中心に展示し、調布のルーツである農村のくらしを振り返ります。

郷土博物館

〒182-0026 小島町3-26-2 ☎481-7656

開館時間 午前9時～午後4時

入場料 無料 休館日 月曜日(祝日の場合は直後の平日)



郷土博物館裏の水田(昭和50年頃)



一般公開初日の機織り実演(昭和49年)

問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

今年も下布田遺跡にヤギがやってきました!

今年も下布田遺跡の除草のため、5月7日(火)から7月31日(水)まで2頭のヤギがやってきました。下布田遺跡のヤギは、令和4年度から除草時の人的負担やコストを軽減し、騒音や排気ガス等環境に配慮する観点から導入をしました。今ではボランティアの方々が、ヤギの見守りに協力してくれるようになり、また、多くの方々がヤギの仕事ぶりを見に下布田遺跡に来てくれました。ボランティアの方と見学者や見学者同士で会話が弾み、ヤギを中心にコミュニケーションも広がり地域の活性化にも一役買っています。草を食むヤギの姿を見ることを楽しみにしている方々や子どもたちからは、「かわいいー!」「頑張って草食べてね!」と沢山の応援も頂くようになりました。下布田遺跡のヤギは、地域の方々に親しまれる存在となっています。

なお、今年度から下布田遺跡の公園整備工事が始まり、新しく生まれ変わる一歩を踏み出していきます。

問合せ/郷土博物館 ☎481-7656



下布田遺跡のヤギ



わが校じまん

副校長先生に「わが校」の魅力を「じまん」していただきました。



受け継がれる「校歌」と「ゆずりは音頭」

飛田給小学校副校長 山田 貴之

飛田給小学校のわが校じまは、子どもたちや卒業生に長年愛されている「校歌」と「ゆずりは音頭」です。「校歌」の作詞は小海永二さん、作曲は『めだかの学校』で有名な中田喜直さんで、軽やかで弾むような符点のリズムが特徴です。全校児童で歌うときは、リズムカルな曲調に子どもたちの声も心も弾んでいる様子が見受けられます。また、「ゆずりは音頭」は毎年開校記念日の前に、きょうだい学年(1年生-6年生、2年生-5年生、3年生-4年生)で休み時間に一緒に踊り、歌詞や踊り方を受け継いでいます。開校記念集会では、全校児童が「ゆずりは音頭」を元気な掛け声とともに楽しそうに踊り、その姿は大変印象的です。開校以来、子どもたちに愛されている「校歌」と「ゆずりは音頭」をこれからも大切に引き継いでいきます。



第六中学校は「まなびの森」

第六中学校副校長 佐藤 祐介

これからの時代を生きる子どもたちの未来、予測困難な時代と言われるからこそ、どんな事態が起きても、その問題に仲間と協力して主体的に立ち向かう資質・能力、そして勇気を身につけさせる教育活動を第六中学校は進めています。

人権教育・道徳教育・インクルーシブ教育を重視する人権尊重の精神を基盤に子供たちの多様な学びを保障し、仲間と協働で課題を解決する喜びを大切に、子どもたちの未来に繋がる授業を展開します。そして、教科の授業以外にも地域と連携したグリーンハロープロジェクト、六中タイムでの哲学対話、昼休みのMORIコンサート、大学生や地域の方と連携した英語教育の充実など、多様な学びを探索しています。

●インクルーシブ教育
障害のある者となし者が共に学ぶことを通して共生社会の実現に貢献しようとする考え方
●グリーンハロープロジェクト
第六中学校生徒会活動 毎月最終木曜日7時50分～8時10分
自主参加生徒が地域の方と一緒にあいさつをしながら地域のごみ拾いをし、よりよい地域づくりに主体的に参画する活動



郷土博物館開館50周年

昭和30年代以降、高度経済成長の下で、日本は生活様式の最大の転換期を迎えていました。調布も例外ではなく、それまでの農村としての生活や風景が急速に失われていきました。

この急激な生活の変化に直面した市民の間で、失われていく生活の記録を残し、郷土の歴史を振り返る施設が必要だという声が上がります。そして、昭和43年に市民から郷土博物館建設の陳情があり、今からちょうど50年前にあたる昭和49年11月24日に調布市郷土博物館が誕生しました。

郷土博物館では開館50周年に向けて企画を準備中です。



完成直後の郷土博物館(昭和49年)

開館50周年記念イベント

令和6年
11月23日(土・祝) 24日(日)

企画展示や新しくなった常設展示についての学芸員の解説や、展示に関連したゲストとのトーク等を郷土博物館で実施する予定です。詳細は決まり次第、市ホームページやX(旧Twitter)等でお知らせします。

常設展示が新しくなります!

2階常設展示室の内容を見直し、令和6年11月19日(火)から新たにオープンします。(注)2階常設展示室は11月17日(日)まで休室中です。

問合せ/郷土博物館 ☎481-7656



調布市立図書館公式キャラクター「じろ」

緑ヶ丘分館と富士見分館は、昭和49年7月20日に開館し、今年で開館50周年を迎えました。そこで緑ヶ丘分館と富士見分館では、開館当時の様子を写した懐かしい写真パネルの展示や利用者からのお祝いカードを8月末まで掲示しました。

緑ヶ丘分館では令和6年7月20日(土)に「開館50周年記念おはなし会」を開催しました。なお、緑ヶ丘二丁目団地の建替え工事に伴い、数年後に移転が予定されています。より良い図書館になるように計画を進めていきます。

富士見分館では、令和7年3月まで毎月、第2土曜日の午前10時30分から、幼児・小学生対象の「どようびのおはなし会」を開催していますのでぜひご参加ください。これからも地域のみなさまに愛される図書館づくりを目指していきます。

問合せ/緑ヶ丘分館 ☎03-3300-7672
富士見分館 ☎481-7664

教育委員会の開催状況

令和6年3月から8月までに、6回の定例会と4回の臨時会が開催されました。

主な案件

- ・令和5年度児童・生徒の学力向上を図るための調査における調布市の結果について
- ・令和7～10年度使用調布市立中学校教科用図書の採択について

- 教育委員会定例会は原則として毎月第4金曜日の午前10時から教育会館3階にて開催しています。傍聴は開館15分前から先着で受け付けます。
- 上記のほか、教育委員会の審議日程・案件・会議録、教育委員の活動報告、教育長交際費の支出状況などの教育委員会の動きは、市ホームページで公開しています。

新教育委員の紹介



教育長職務代理者
白倉 美智

令和6年6月20日付で
教育委員会委員に任命されました。
任期：令和6年6月20日～令和7年12月17日
(教育長職務代理者の任期：令和6年7月1日～令和7年12月17日)

※補欠としての任命のため、任期は前任者の任期の残任期間
※令和6年7月1日に開催された令和6年調布市教育委員会第4回臨時会で、教育長から教育長職務代理者に指名されました。



委員
毛利 勝

令和6年7月1日付で
教育委員会委員に任命されました。
任期：令和6年7月1日～令和10年6月30日

令和7～10年度に使用する調布市立中学校の教科用図書の採択について

採択された教科書

教科	種目	発行者	書名
国語	国語	光村図書出版株式会社	国語
	書写	光村図書出版株式会社	中学書写
社会	地理的分野	東京書籍株式会社	新編 新しい社会 地理
	歴史的分野	株式会社帝国書院	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
	公民的分野	東京書籍株式会社	新編 新しい社会 公民
	地図	株式会社帝国書院	中学校社会科地図
数学	数学	東京書籍株式会社	新編 新しい数学
理科	理科	東京書籍株式会社	新編 新しい科学
	一般	株式会社教育芸術社	中学生の音楽
音楽	器楽合奏	株式会社教育芸術社	中学生の器楽
美術	美術	光村図書出版株式会社	美術
保健体育	保健体育	東京書籍株式会社	新編 新しい保健体育
技術・家庭	技術分野	東京書籍株式会社	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology
	家庭分野	開隆堂出版株式会社	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
外国語	英語	株式会社三省堂	NEW CROWN
特別の教科道徳	道徳	光村図書出版株式会社	中学道徳 きみがいちばんひかるとき

問合せ/教育総務課 ☎481-7465

楽器寄附ふるさと納税

本制度は、既存の「ふるさと納税」の枠組みを活用して、寄附楽器の査定額が控除対象となる制度です。返礼品が無いことや、居住自治体への寄附が可能なのが既存の「ふるさと納税」と異なります。

調布市では、都内初の取組として令和5年7月から本制度を実施し、令和6年3月末までに、16台の楽器をご寄附いただきました。



楽器の台数増による教育活動の充実だけでなく、物を大切に使い続ける意識の醸成や、子ども達からご寄附いただいた方への感謝の手紙の贈呈、演奏会へのご招待などを通じて、SDGsの学びや情操教育にもつながっています。

市民の方のご寄附も可能ですので、子ども達に笑顔が届けられるよう、本制度へのご協力をお願いいたします。



問合せ/教育総務課 ☎481-7144



中学生・高校生を対象に 図書館アンケートを実施しました！



調布市立図書館では、中学生・高校生の市立図書館の利用状況やニーズを調査し、YAサービス(中高生世代の利用者に対して行うサービス)の充実を図るため、「中学生・高校生対象図書館アンケート」を実施しました。

中学生・高校生の皆さん、アンケートへのご協力ありがとうございました！

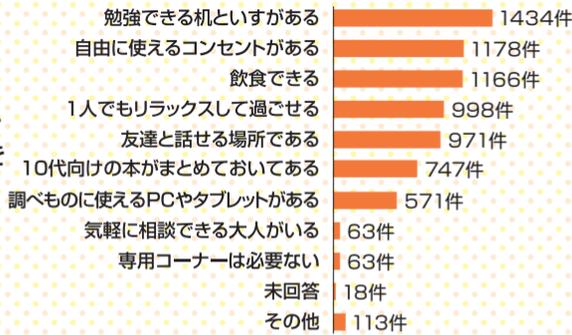
図書館に置いてほしい本のタイトルをお聞きしたところ、すでに所蔵している本も多くありました。それらのリストをホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。中高生の理想の図書館として、飲食ができる自室のようなリラックスできる空間を求める意見がある一方で、友達と話せる等交流の場を求める意見もありました。いただいた回答を参考に、今後のYAサービスを充実させていきたいと思っております。

調査期間
令和5年11月13日(月)
～12月15日(金)

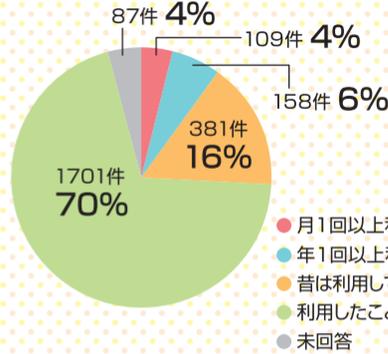
調査対象
調布市内の学校に通う中学生・高校生および調布市立図書館を利用する中学生・高校生

回答件数
2,436件

YAコーナーに求めること(複数回答可)



調布市立図書館の利用頻度



アンケート結果の詳細はこちらをご覧ください



問合せ/図書館 ☎441-6181

調布市八ヶ岳少年自然の家のリニューアル



利用案内
ホームページ

調布市八ヶ岳少年自然の家は、恵まれた自然環境の中で、集団での宿泊生活とおして少年の心身の健全な育成を図るための社会教育施設です。一般の方もご利用でき、体育館も隣接しており合宿等にもおすすめです。令和4年度及び5年度に、施設の老朽化に伴い改修工事を行いました。リニューアルされた快適な施設をご利用ください。

主な改修内容

- 水回りを改修し、洗面所やトイレが新しくなりました。
- Wi-Fiを新設し、館内全域及び体育館で使用できるようになりました。
- 空調を全て交換し、冷房も使えるようになりました。
- 体育館の屋根や外壁等を改修しました。



体育館への渡り廊下と外壁を改修

問合せ/社会教育課 ☎481-7488

夏休み親子料理教室動画配信中

学務課では、例年、夏休み期間中に文化会館たづくり調理室で、市内在住の小・中学生と保護者を対象とした親子料理教室を開催しています。

また、市ホームページで、小学校の学校給食調理員が調理方法を実演する動画配信を行っています。

今年度実施した親子料理教室のレシピと調理方法を動画などで紹介していますので、ぜひ、ご自宅等で調理する際の参考にしてください。



(動画は上のQRコードからアクセス可)



問合せ/学務課 ☎481-7476

令和6年度 地域文化祭を開催します

東部・西部・北部の3つの公民館では、毎年、利用団体の学習活動の発表の場、地域の交流の場として地域文化祭を開催しています。今年度も10月26日(土)から11月3日(日祝)まで〔10月28日(月)は休館〕の8日間、各公民館で開催します。サークル作品展示や発表、体験できるものや地域文化祭ならではの催しなどをご用意しています。この機会にぜひお立ち寄り、ご観覧ください。



- 【東部公民館】調布市若葉町1-29-21 ☎03-3309-4505
- 【西部公民館】調布市上石原3-21-6 ☎484-2531
- 【北部公民館】調布市柴崎2-5-18 ☎488-2698

※詳細は各公民館へお問い合わせください。

調布の文化財 市指定文化財・染地遺跡第128地点出土小銅鐸

小銅鐸は、銅鐸の形を模した小型の青銅製品です。その出土例は数少なく、これまでに全国で約60点が報告されているだけです。このうち染地遺跡から出土した小銅鐸は、都内では3例目となる希少な出土例です。

染地三丁目の多摩川住宅建て替え工事に伴い、令和元年8月から令和3年2月にかけて行われた染地遺跡第128地点の発掘調査では、弥生時代後期から古墳時代後期にかけての竪穴住居跡が数多く検出され、当時、この地に大規模な集落が営まれていたことが明らかとなりました。調査区中央には東西方向へ伸びる浅い谷状の窪地が確認されていますが、この窪地から多量の木製品や木材などと共に、小銅鐸が検出されました。

染地遺跡の小銅鐸は、裏面の大半が欠損するものの、錆がほとんど見られず、銅本来の赤銅色を保つなど、残存部分の状態は良好です。また、流路跡とみられる谷状窪地の木材集中域の下部から出土しており銅鐸を用いた祭祀、特に祭祀後の廃棄のあり方を考えるうえでも貴重な資料であることから、令和6年3月29日付けで市指定有形文化財(考古資料)に指定されました。



問合せ/郷土博物館 ☎481-7656

「令和6年度調布っ子“夢”発表会」を開催します

調布っ子“夢”発表会は、子どもたちに自由で夢のある意見発表の機会を提供するとともに、活動を通して、まちづくりへの参加意識の向上を図ることを目的に開催しています。

市内の小学校5校から5年生10人が、「わたしが考える未来の調布」というテーマのもと、自由で夢のある意見を発表します。どなたでもご来場いただけます。

- 日時 11月23日(土・祝)午後2時～午後3時20分 (開場:午後1時30分から)
- 場所 調布市文化会館たづくり12階大会議場
- 申込み 事前の申込みは不要です。直接会場へお越しください。当日先着110人。
- 発表者 第三小学校、深大寺小学校、緑ヶ丘小学校、染地小学校、調和小学校、計5校から各2人(5年生)



問合せ/社会教育課 ☎481-7488

就学援助申請受付中

～経済的に困りの方へ～
教育費の一部を援助します

今からでも申請できます!

教育委員会では、お子さんが学校でひとしく勉強できるように、経済的に困りの保護者に対して、教育費の一部を援助しています。対象は、調布市に居住し、公立小・中学校、義務教育学校又は中等教育学校(前期課程)に在籍する児童・生徒の保護者で、所定の認定要件に該当する方です。申請内容を審査して援助対象者を決定します。まだ申請していない方で希望される場合は、お気軽に学務課へご相談ください。

※市ホームページからダウンロードできます▶



受付期間は?

令和7年2月末まで随時受け付けています。受け付けた月の翌月から支給対象となりますので、お早めに申請してください。



認定となる収入の目安はどれくらいですか?

世帯構成、年齢、住宅状況、所得の種類などにより異なります。
(参考)目安 4人世帯
収入額:約425万円未満
所得額:約296万円未満



申請方法を教えてください

申請書に必要な書類を添えて、学務課へ持参又は郵送にて提出してください。



認定の要件にはどのようなものがありますか?

児童扶養手当を受給していること、世帯全員が市民税非課税であることや収入または所得の合計が基準額以下であることなどが認定の要件になります。申請希望の方は、必要書類等を学務課へお問い合わせください。その他の認定要件につきましては、お知らせまたは申請書をご確認ください。



申請書はどこで受け取れますか?

申請書は、4月上旬に各学校から全児童・生徒の保護者へ配付しました。お手元がない場合は、学務課又は学校で受け取るか、市ホームページからダウンロードすることも可能です。



どのような援助が受けられますか?

- 学用品費 ●通学用品費 ●校外活動費 ●新入学準備金
 - 新入学学用品費 ●卒業記念品費 ●体育実技用具費
 - 通学費 ●移動教室費 ●修学旅行費 ●医療費 ●給食費
- ※学年や認定月により受けられる援助の内容や支給金額が異なります。

[支給金額の例(年額)] ●小学校6年生 約11万円
●中学校3年生 約13万円

令和7年4月に小学校入学予定のお子さまの保護者の方へ

就学援助の認定基準に該当する方に、入学前の2月に新入学準備金を支給します。お知らせと申請書は、9月に対象者へ送付した就学時健康診断通知書に同封しています。ご希望の方は、学務課へ申請してください。

支給金額	新入学準備金 60,060円
提出期限	令和6年12月27日(金)まで
申請方法	申請書に必要な書類を添えて、学務課へ持参または郵送にて提出してください。

就学援助新入学準備金申請 受付開始!

中学校新入学準備金は、小学校6年生の児童の保護者に1月に就学援助に認定されている方に支給します。

●支給金額:66,500円 ●支給時期:1月末頃

問合せ/学務課 ☎481-7473

不登校児童・生徒への支援

教育委員会では、不登校児童・生徒への支援を行っています。

詳細は、市ホームページをご参照ください▶



不登校児童生徒支援プロジェクトSWITCH(スイッチ) -東京学芸大学との連携事業-

メンタルフレンド

学校を長くお休みしている小学生・中学生の家庭に大学生、大学院生を派遣しています。ゲーム、おしゃべりなどの活動を行っています。

ご希望の方は、お子さんの在籍する調布市立小・中学校にご相談ください。

テラコヤ・スイッチ

テラコヤ・スイッチは、学校を長くお休みしている又は休みがちになっている中学生と小学校4～6年生のための場所です。毎週木曜日午後4時から午後6時まで、遊びや学びの活動をしています。大学生・大学院生のスタッフが、活動の支援をしています。

学校に行きづらい子どもの保護者の集い

学校に行きづらいお子さんの保護者の方を対象にした集いを開催します。

日時 令和6年11月25日(月) 午前10時から正午まで
令和7年 3月11日(火) 午前10時から正午まで

場所 調布市教育会館301研修室

講師 東京学芸大学教育学部 教授 松尾 直博 先生

開催内容の変更又は開催を中止する場合があります。参加を希望される方は、お申込みが必要です。申込みの受付は開催日の1ヶ月前頃から行いますので、市ホームページでご確認ください。

お問い合わせは「指導室教育支援係 ☎481-7585」へ

訪問型支援「みらい」

教育支援コーディネーターや心理士が、学校を長くお休みしている小学生・中学生の自宅や公共施設などを訪問し、悩み事の相談やお子さんに応じた学習の支援を行います。

ご希望の方は、お子さんの在籍する調布市立小・中学校にご相談ください。

適応指導教室「太陽の子」

不登校又はその傾向がみられる小学生が社会的自立に向けて学ぶ教室です。

調布市立第七中学校「はしうち教室」(学びの多様な学校分教室)

不登校の中学生が社会的自立に向けて学ぶ学校です。文部科学省の認可を受け、ゆとりある時間割で学習します。

ご相談は「指導室教育支援係 教育支援コーディネーター☎481-7718」へ

問合せ/指導室 ☎481-7585

教育相談所からのご案内

令和7年4月小学校入学予定のお子さんのいる保護者の方へ

「就学相談」では、特別な支援を必要とするお子さんが、その能力を十分に伸ばすことができる教育の場について、相談員が保護者の方と一緒に考えていきます。

調布市立小学校に設置されている特別支援学級・校内通級教室への入級や都立特別支援学校への入学には、「就学相談」のお申込みが必要です。お子さんの成長のために、どのような支援が必要かを、相談員との面接や就学体験会等を経て検討します。



1 調布市立小学校の特別支援学級・校内通級教室へ

入級を希望される方

申込期間 令和6年11月15日(金)まで

2 都立特別支援学校へ入学を希望される方

申込期間 早急にお申し込みください

申込 教育相談所 電話481-7634



問合せ/指導室 ☎481-7585

スクールソーシャルワーカーへご相談ください

スクールソーシャルワーカー(SSW)は国家資格をもつ福祉の専門職です。調布市教育委員会では、令和6年度からすべての小・中学校にスクールソーシャルワーカーを週1日以上配置しています。

お子さんの困りごとの解決のために、お子さんや保護者のお話を面談や家庭訪問を通してうかがい、必要な福祉サービスの情報を提供するとともに、学校や関係機関とも連携しながら一緒に考えていきます。

問合せ ▶ お子さんの在籍する調布市立小・中学校にお問い合わせください。

問合せ/指導室 ☎481-7585

調布市教育シンポジウム

「これからの学校教育を考える～子どもを主語にした個別最適な学びの実現へ」

令和6年8月20日(火)に教育シンポジウムを開催しました。関係者によるパネルディスカッションや講演を通じて、子どもの学びに、教師は伴走者として寄り添っていくことや、学校・地域が一体となって子どもを主語にした教育を考えていくことなど、これからの学校教育の在り方について考えました。



問合せ/指導室 ☎481-7480